

研究課題：アカデミックナースによる病院と大学のパートナーシップモデルの構築に関する研究**に関する情報公開**

1. 研究の対象

目的1) アカデミックナース約3～5名、大学教員約3～5名、
看護学生約10名

目的2) 看護学生 実験群約40名 対照群約40名

目的3) アカデミックナース約3～5名、大学教員約3～5名、
看護学生（実験群）約10名、 看護学生（対象群）約10名

2. 研究目的・方法

目的：1) 看護実習に対するニーズを明らかにする、2) ANと大学教員の協働による教育の効果を評価する、3) パートナーシップ育成への効果を明らかにする

目的1) では、看護部の協力を得て、臨床の看護師(AN)を3～5名程度募集、看護専攻会議で教員を3～5名程度募集、学生は学内掲示ポスターにて40名程度募集する。協力の得られたAN、教員、及び学生（各3～5名程度）のグループインタビューを行う。半構造型面接で30分程度を予定している。録音したテープから逐語録を作成し、質的に分析し、各々看護実習に対するニーズを明らかにする。

目的2) では、本教育プログラムに参加している学生（実験群）と参加していない学生（対照群）を対象に下記のスケジュールにてコミュニケーションに関する下記の調査票3種を実施する。

① 情動能力評価票（30項目） ②共感能力評価票（20項目） ③チームワーク調査票（23項目）

目的3) では、6ヶ月協働して教育プログラム作成と実施する中で、どのような友好関係が涵養されたかを明らかにするため、病院基礎看護実習終了後に、AN3～5人、看護教員3～5人、及び、本プロジェクトの実習に参加した学生（実験群）約10名、参加していない学生（対照群）約10名に半構造型面接を約30分実施する。その後、逐語録を作成し、質的に分析し、友好関係、実習中にどのような事を感じたのかを明らかにする。

研究期間：2016. 02. 15～2019. 03. 31

3. 研究に用いる試料・情報の種類

目的1) では

- アカデミックナース約5名のグループインタビューの録音と逐語録
- 看護教員約5名のグループインタビューの録音と逐語録

目的2) では

- 実験群看護学生用
 1. 情動能力調査票 40 x 3(本実習前、病院実習前、病院実習後)=120
 2. 共感能力評価票 40 x 3(本実習前、病院実習前、病院実習後)=120
 3. チームワーク能力評価票 40 x 3(本実習前、病院実習前、病院実習後)=120
- 対照群看護学生用
 1. 情動能力調査票 40 x 2(病院実習前、病院実習後)=80
 2. 共感能力評価票 40 x 2(病院実習前、病院実習後)=80
 3. チームワーク能力評価票 40 x 2(病院実習前、病院実習後)=80

目的3) では

1. アカデミックナース約5名のグループインタビューの録音と逐語録
2. 大学教員約5名のグループインタビューの録音と逐語録
3. 看護学生(実験群)約10名のグループインタビューの録音と逐語録
4. 看護学生(対象群)約10名のグループインタビューの録音と逐語録

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、
研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

〒466-8560 名古屋市昭和区鶴舞町 65
名古屋大学医学部附属病院卒後臨床研修・キャリア形成支援センター
看護キャリア支援室
研究責任者 阿部恵子
電話 052-744-2934、ファックス 052-744-2935)